

おう

王であるキリストのしゅくじつ

きょうのふくいん(マタイ 25.31~46)

みなさん8日と15日の七五三のしゅくふくをもらいましたか。コロナウイルスのために、わたしたちのせいがかかわってきたので、おおきなもんだいがあるとおもっています「みんなとあわなくなった」ですね。

七五三がい、あわなくなってしまうましたね。しかし、みんなはいままでとかわらないぐらい、がっこうにまいにちかよっているでしょう。きょうかいに、にちようびにもきてね、。いのりをわすれているのかな、こころとのつながりがとおくなくなってないか、とてもしんぱいしています。

七五三にみなさんにであえて、うれしかったです。またきてね。

「そのとき、イエスはでしたちにいわれた」「ひとのこは、えいこうにかがやいて、てんしたちをみんなしたがえてくるとき、そのえいこうのざにつく。そして、すべてのくにのたみが、そのまえにあつめられると、ひつじかいがひつじとやぎをわけるように、かれらをよりわけ、ひつじをみぎに、やぎをひだりにおく。そこで、おうはみぎがわにいるひとたちにいう「さあ、わたしのちちにしゅくふくされたひとたち、てんちそうぞうのときから、おまえたちのためによういされているくにをうけつぎなさい。おまえたちは、わたしがうえていたときにたべさせ、のどがかわいていたときにのませ、たびをしていたときにやどをかし、はだかのときにきせ、びょうきのときにたずねてくれたからだ」すると、ただしいひとたちがおうにこたえる「しゅよ、いつわたしたちは、うえておられるのをみて、たべものをさしあげ、のどがかわいておられるのを(38, 39 せつをはぶきます) 40 そこでおうはこたえる「はっきりいっておく。わたしのきょうだいである、このもつともちいさいものひとりにしたのは、わたしにしてくれたことなのである」それからひだりにいるひとたちにもいう「のろわれたものども、わたしからはなれさり・・・」(42, 43, 44 せつはぶきます) 45 そこでおうはこたえる「はっきりいっておく。このもつともちいさいものひとりにしなかつたのは、わたしにしてくれなかつたことなのである」こうしてこのものどもはえいえんのぼつをうけ、ただしいひとは、えいえんのいのちにあずかるのである。」

きょうのふくいんでは、おうであるイエスさまが、どういうひとがかみさまのくにはいれるのか、おしえてくださいました。おなかがすいたひと、のどがかわいたひと、たびをしているひと、きるもののないひと、びょうきのひと、とらえられているひとのなかに、わたし(イエス)がいるとはなされます。

イエスさまは「これらのわたしのきょうだいである、くるしむひとたちのひとりにしてくれたことは、わたしにしてくれたのだ」とおっしゃっています。たすけのをさしのべたひとを、こじぶんのくににむかえいれてくださるでしょう。

みんなのちかくにも、きつといま、たすけをひつようとしているひとたちがいます。そしてそのひとたちのなかでイエスさまはみんながてをさしのべてくれることをまっておられます。せかいがどんなにかわっても、もつともちいさくされたひとたちのなかにいるわたし(イエス)のことをわすれないで、といっておられます。

もういちど、ふくいんをゆつくりよんでみて、いま、じぶんがそのちいさいひとびとのためになにができるのかかんがえてみましょうね。

もうすぐイエスさまをおむかえするために、たいこうせつ(アドベント)がはじまります。このこともわすれないで、おてがみがときますから、まっけていてくださいね。

おしらせ

12月25日(クリスマス)の子どものミサは2:00からです。